



富山県内の中小企業動向調査 ファーストTrend

2026年4月号

— — — — — CONTENTS — — — — —

1. 中小企業動向調査 [2026年1~3月実績/2026年4~6月見込/2026年7~9月予測]
2. 中東情勢について

中小企業動向調査（2026年3月末日基準）

この調査は、富山県内企業404社からのアンケート結果をまとめたものです。
企業の調査資料として、2026年1月～3月の実績、2026年4月～6月の見込、2026年7月～9月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

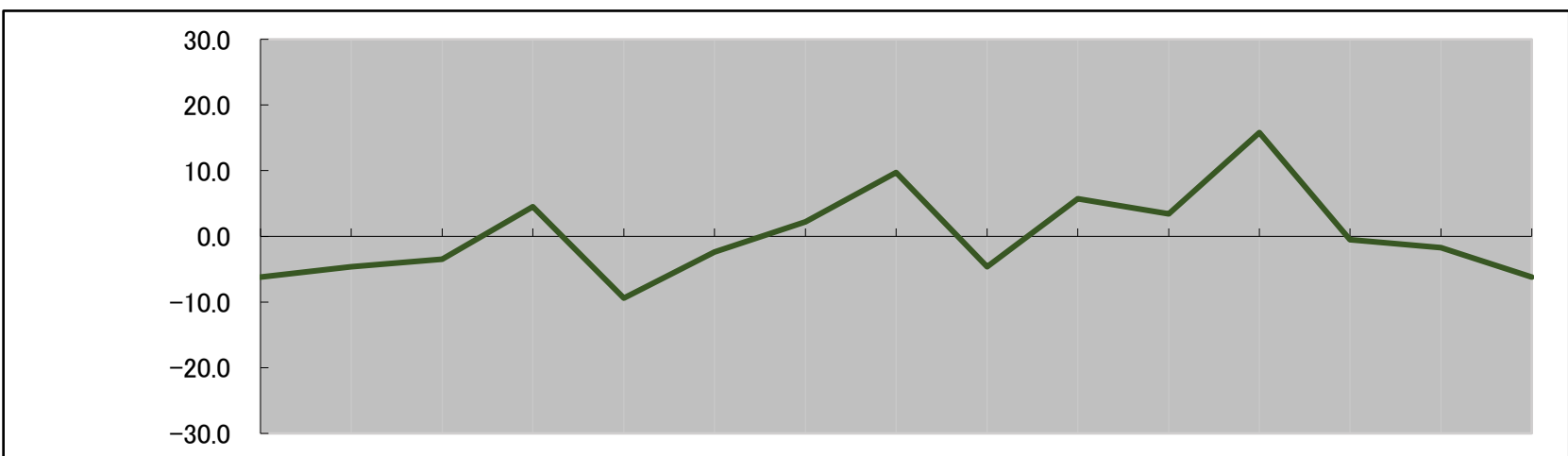
回答企業数（調査企業数）
404（637）
うち、製造業69社、非製造業335社
調査時期：2026年4月
方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2026年5月に公表した「富山県金融経済クォーターリー2026年春」によると、「最終需要をみると、個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、持ち直している。設備投資は、増加している。住宅投資は、下げ止まりつつある。公共投資は、増勢が鈍化している。生産は、持ち直しつつある。業種別にみると、医薬品を中心とする化学は、緩やかに増加している。電気機械は、緩やかに持ち直している。汎用・生産用・業務用機械は、持ち直しつつある。金属製品は、弱めの動きとなっている。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、上昇している。企業倒産は、件数は前年を上回ったものの、負債総額は前年を下回った。」とあります。富山県内の中小企業の景気は、一部に弱めの動きもみられますが、緩やかに回復しているとみられています。

I. 企業業況

（小数点第2位を四捨五入）

企業業況の推移……（全産業）														（%）		見込	予測
種別	期別	2023				2024				2025				2026			
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
良	い	20.7	20.5	20.4	24.2	18.6	20.4	23.7	27.9	20.6	22.9	21.9	28.2	19.8	15.1	12.9	
普	通	52.4	54.3	55.7	56.1	53.4	56.8	54.8	53.9	54.2	59.9	59.6	59.4	59.9	68.1	68.0	
悪	い	26.9	25.1	23.9	19.7	28.0	22.8	21.5	18.2	25.2	17.2	18.5	12.4	20.3	16.8	19.1	
D	I	-6.2	-4.6	-3.5	4.5	-9.4	-2.4	2.2	9.7	-4.6	5.7	3.4	15.8	-0.5	-1.7	-6.2	



富山県内の中小企業の業況を全産業でみると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、マイナス0.5となり、前回比16.3ポイント悪化しました。2026年4月以降も悪化傾向を予測しており、今後の見通しに慎重な見解を持つ企業が多いと考えられます。

I. 企業業況（続き）

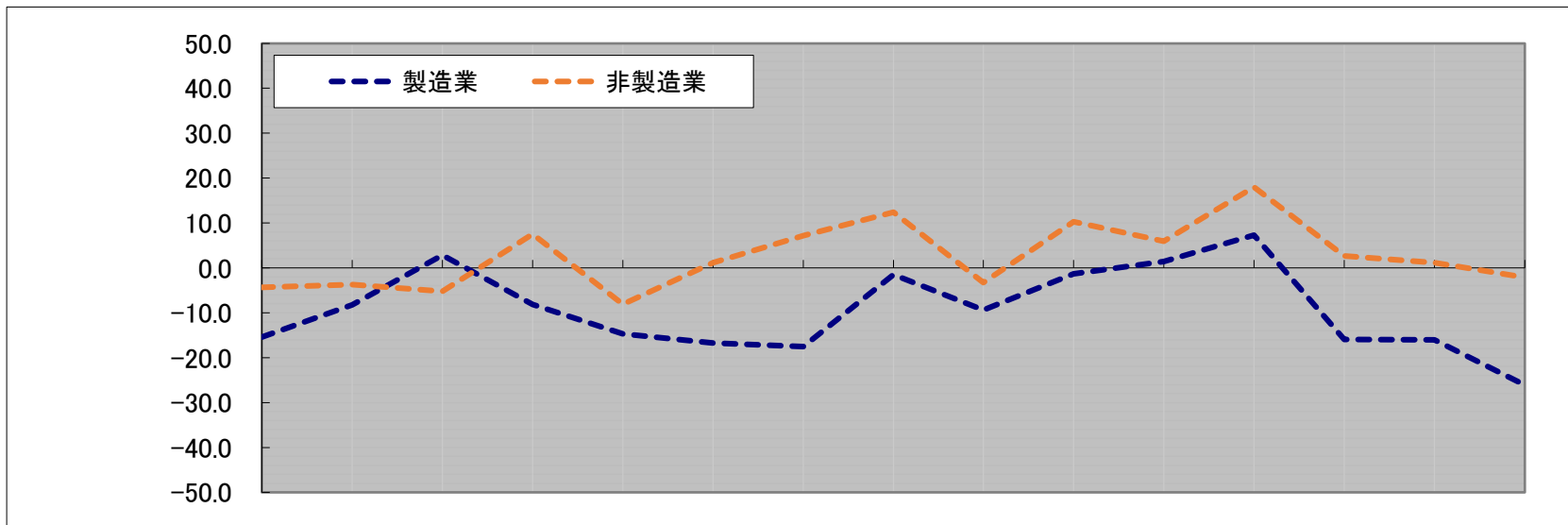
企業業況の推移……（うち製造業のみ）

（小数点第2位を四捨五入）

(%)														見込	予測	
		2023				2024				2025				2026		
		1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
良	い	25.0	21.9	30.6	25.8	20.6	22.7	21.7	28.8	25.0	20.7	23.4	31.7	17.4	15.9	8.7
普	通	34.6	47.9	41.7	40.3	44.1	37.9	39.1	40.9	40.6	47.1	46.7	43.9	49.3	52.2	56.5
悪	い	40.4	30.1	27.8	33.9	35.3	39.4	39.2	30.3	34.4	22.0	22.0	24.4	33.3	31.9	34.8
D	I	-15.4	-8.2	2.8	-8.1	-14.7	-16.7	-17.5	-1.5	-9.4	-1.3	1.4	7.3	-15.9	-16.0	-26.1

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)														見込	予測	
		2023				2024				2025				2026		
		1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
良	い	19.8	20.2	17.7	23.9	18.1	19.8	24.2	27.6	19.6	23.5	21.6	27.3	20.3	14.9	13.7
普	通	56.0	55.9	59.4	59.7	55.7	61.6	58.8	57.2	57.5	63.3	62.7	63.4	62.1	71.4	70.5
悪	い	24.1	23.9	22.9	16.4	26.2	18.6	17.0	15.2	22.9	13.2	15.7	9.3	17.6	13.7	15.8
D	I	-4.3	-3.7	-5.2	7.5	-8.1	1.2	7.2	12.4	-3.3	10.3	5.9	18.0	2.7	1.2	-2.1



製造業と非製造業に分けてみると、製造業の業況判断指数D.I.は、マイナス15.9となり、前回比23.2ポイントの悪化となりました。2026年4月以降の業況D.I.も悪化傾向となる予想です。非製造業ではプラス2.7となり、前回比15.3ポイント悪化しました。非製造業では2026年4月以降の業況D.I.も悪化傾向となる予想です。

Ⅱ. 売上高状況

(小数点第2位を四捨五入)

売上高状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2023				2024				2025				2026		
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
増加	26.5	27.6	27.1	31.5	24.4	28.9	28.1	32.1	24.5	27.1	29.7	31.9	25.7	18.6	14.6
横ばい	49.2	49.5	48.1	51.5	51.2	48.6	50.0	52.1	50.3	58.6	55.1	52.3	56.5	66.8	68.8
減少	24.3	23.0	24.8	17.0	24.4	22.5	21.9	15.8	25.2	14.3	15.2	15.8	17.8	14.6	16.6
D . I .	2.2	4.6	2.3	14.5	0.0	6.4	6.2	16.3	-0.7	12.8	14.5	16.1	7.9	4.0	-2.0

売上高状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

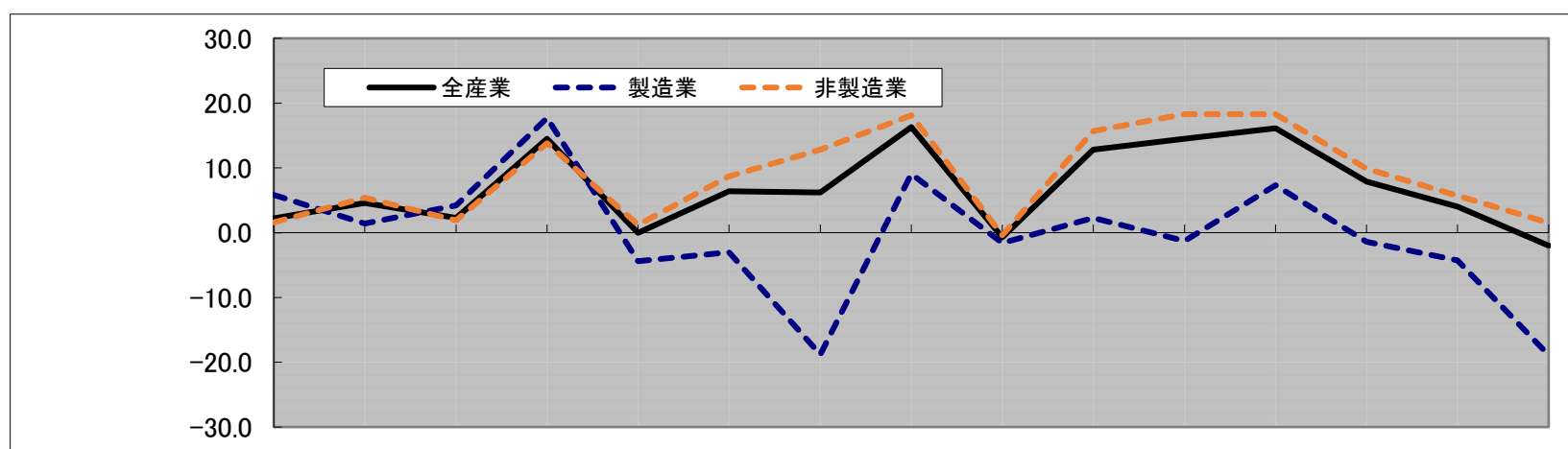
	2023				2024				2025				2026		
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
増加	34.6	28.8	33.3	40.3	22.1	31.8	20.3	28.8	23.4	26.4	26.0	32.9	23.2	17.4	10.1
横ばい	36.5	43.8	37.5	37.1	51.4	33.4	40.6	51.5	51.6	49.5	46.7	41.5	52.2	60.9	60.9
減少	28.8	27.4	29.2	22.6	26.5	34.8	39.1	19.7	25.0	24.1	27.3	25.6	24.6	21.7	29.0
D . I .	5.8	1.4	4.2	17.7	-4.4	-3.0	-18.8	9.1	-1.6	2.3	-1.3	7.3	-1.4	-4.3	-18.9

売上高状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2023				2024				2025				2026		
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
増加	24.9	27.3	25.5	29.5	25.0	28.1	30.2	32.9	24.8	27.3	30.6	31.7	26.3	18.8	15.5
横ばい	51.8	50.8	50.9	54.9	51.2	52.5	52.4	52.3	50.0	61.1	57.1	54.9	57.3	68.1	70.5
減少	23.3	21.9	23.6	15.7	23.8	19.4	17.4	14.8	25.2	11.6	12.3	13.4	16.4	13.1	14.0
D . I .	1.6	5.4	1.9	13.8	1.2	8.7	12.8	18.1	-0.4	15.7	18.3	18.3	9.9	5.7	1.5



売上高D.I.は全産業ではプラス7.9となり、前回比8.2ポイント悪化しました。2026年4月以降も悪化傾向となる予想です。

製造業ではマイナス1.4となり、前回比8.7ポイント悪化しました。2026年4月以降も悪化傾向となる予想です。

非製造業ではプラス9.9となり、前回比8.4ポイント悪化しました。2026年4月以降も悪化傾向となる予想です。

Ⅲ. 製品在庫水準

(小数点第2位を四捨五入)

製品在庫水準の推移…… (全産業)

(%)

見込

予測

	2023				2024				2025				2026		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不 足	9.7	7.8	9.0	8.2	9.8	6.7	7.8	5.8	7.6	5.9	4.2	5.9	7.7	11.9	13.4
適 正	83.8	84.3	84.0	85.8	83.8	88.7	85.6	89.4	87.0	88.2	90.1	90.9	87.6	84.1	83.6
過 剰	6.5	7.8	7.0	6.1	6.4	4.6	6.6	4.8	5.4	5.9	5.7	3.2	4.7	4.0	3.0
D . I .	3.2	0.0	2.0	2.1	3.4	2.1	1.2	1.0	2.2	0.0	-1.5	2.7	3.0	7.9	10.4

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込

予測

	2023				2024				2025				2026		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不 足	15.4	8.2	8.3	8.1	2.9	3.0	8.7	1.5	6.3	5.7	3.9	6.1	13.0	8.7	10.1
適 正	69.2	76.7	79.2	82.3	82.4	80.3	78.3	86.4	85.9	84.0	85.7	87.8	82.7	84.1	82.7
過 剰	15.4	15.1	12.5	9.7	14.7	16.7	13.0	12.1	7.8	10.3	10.4	6.1	4.3	7.2	7.2
D . I .	0.0	-6.9	-4.2	-1.6	-11.8	-13.7	-4.3	-10.6	-1.5	-4.6	-6.5	0.0	8.7	1.5	2.9

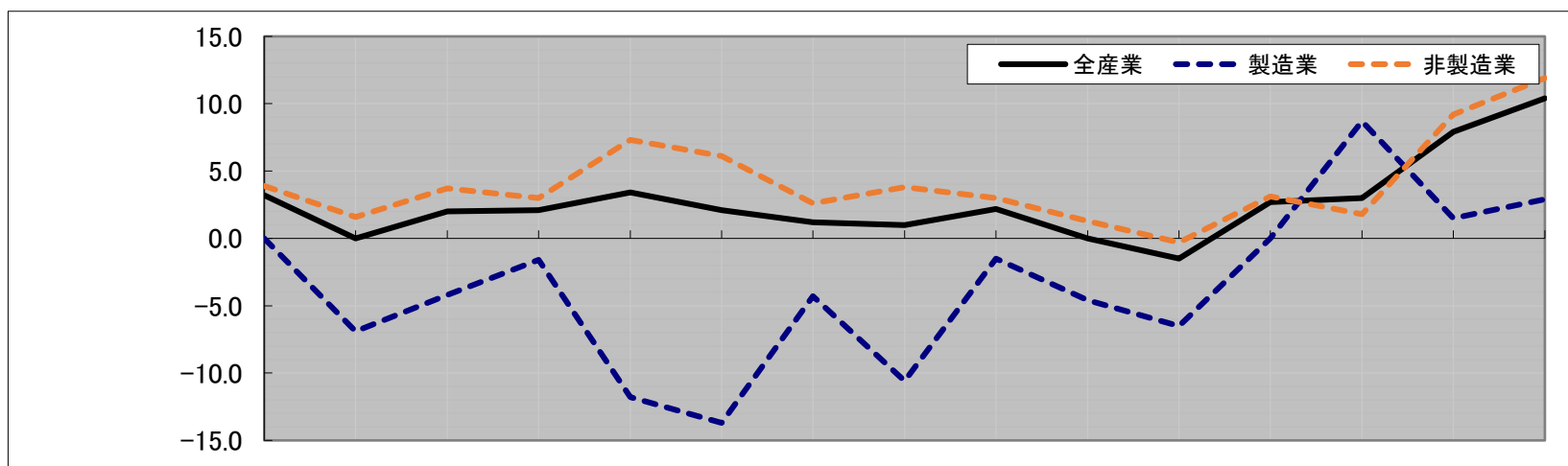
製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込

予測

	2023				2024				2025				2026		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不 足	8.6	7.7	9.2	8.2	11.5	7.6	7.5	6.8	7.9	6.0	4.3	5.6	6.6	12.5	14.0
適 正	86.8	86.2	85.2	86.6	84.3	90.9	87.6	90.2	87.2	89.3	91.1	91.9	88.6	84.2	83.9
過 剰	4.7	6.1	5.5	5.2	4.2	1.5	4.9	3.0	4.9	4.7	4.6	2.5	4.8	3.3	2.1
D . I .	3.9	1.6	3.7	3.0	7.3	6.1	2.6	3.8	3.0	1.3	-0.3	3.1	1.8	9.2	11.9



製品在庫水準D.I.はプラス3.0となり前回比0.3ポイント改善しました。2026年4月以降もプラス圏内で推移する予想です。

製造業はプラス8.7と前回比8.7ポイント改善しました。2026年4月以降もプラス圏内で推移する予想です。

非製造業はプラス1.8と前回比1.3ポイント悪化しました。2026年4月以降もプラス圏内で推移する予想です。

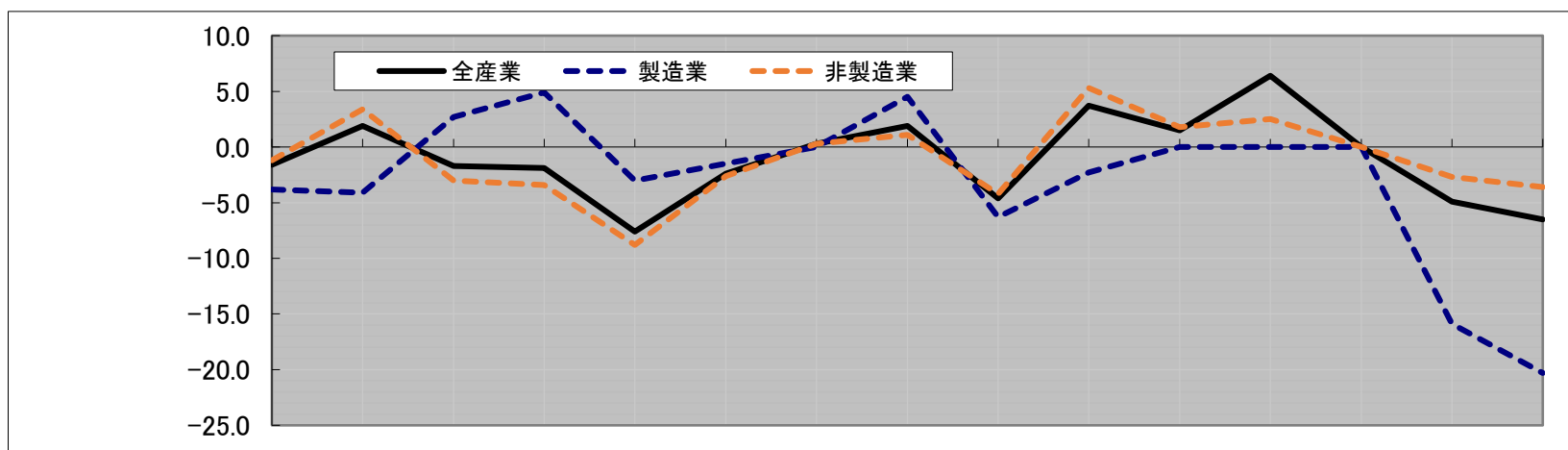
IV. 資金繰状況

(小数点第2位を四捨五入)

資金繰状況の推移……（全産業）														(%)			見込	予測
	2023				2024				2025				2026					
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月			
ゆるい	16.8	14.3	14.3	13.6	9.8	13.7	12.3	15.5	13.0	16.3	15.7	18.3	14.4	10.4	10.6			
普通	64.7	73.2	69.7	70.9	72.8	70.2	75.7	70.9	69.4	71.1	70.1	69.8	71.2	74.3	72.3			
厳しい	18.4	12.4	16.0	15.5	17.4	16.1	12.0	13.6	17.6	12.6	14.2	11.9	14.4	15.3	17.1			
D . I .	-1.6	1.9	-1.7	-1.9	-7.6	-2.4	0.3	1.9	-4.6	3.7	1.5	6.4	0.0	-4.9	-6.5			

資金繰状況の推移……（うち製造業のみ）														（%）			見込	予測
	2023				2024				2025				2026					
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月			
ゆるい	13.5	12.3	12.3	21.0	8.8	12.1	10.1	13.6	10.9	13.8	14.3	16.3	13.0	8.7	10.1			
普通	69.2	71.2	78.1	62.9	79.4	74.3	79.8	77.3	71.9	70.1	71.4	67.4	74.0	66.7	59.5			
厳しい	17.3	16.4	9.6	16.1	11.8	13.6	10.1	9.1	17.2	16.1	14.3	16.3	13.0	24.6	30.4			
D I	-3.8	-4.1	2.7	4.9	-3.0	-1.5	0.0	4.5	-6.3	-2.3	0.0	0.0	0.0	-15.9	-20.3			

資金繰状況の推移……（うち非製造業のみ）														（%）			見込	予測
	2023				2024				2025				2026					
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月			
ゆるい	17.5	14.8	14.8	11.9	10.0	14.1	12.8	15.9	13.5	16.9	16.0	16.1	14.6	10.7	10.7			
普通	63.8	73.7	67.4	72.8	71.2	69.2	74.7	69.3	68.8	71.5	69.8	70.3	70.8	75.9	75.0			
厳しい	18.7	11.4	17.8	15.3	18.8	16.7	12.5	14.8	17.7	11.6	14.2	13.6	14.6	13.4	14.3			
D I	-1.2	3.4	-3.0	-3.4	-8.8	-2.6	0.3	1.1	-4.2	5.3	1.8	2.5	0.0	-2.7	-3.6			



資金繰り状況D.I.は全産業で0.0と前回比6.4ポイント悪化しました。2026年4月以降はマイナス圏内で推移する予想です。

製造業は前回と同数値となりました。2026年4月以降はマイナス圏内で推移する予想です。

非製造業は0.0と前回比2.5ポイント悪化しました。2026年4月以降はマイナス圏内で推移する予想です。

V. 利益状況

(小数点第2位を四捨五入)

利益状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2023				2024				2025				2026		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒 字	39.8	40.0	39.1	47.6	41.5	40.1	42.8	45.1	41.5	46.1	46.9	53.7	46.8	38.4	39.1
収 支 ト ン ト ン	35.3	36.8	39.7	33.6	35.6	38.0	35.3	35.5	33.3	34.7	34.6	33.7	34.9	47.2	48.8
償 却 後 赤 字	24.9	23.2	21.3	18.8	22.9	21.9	21.9	19.4	25.2	19.2	18.5	12.6	18.3	14.4	12.1
D . I .	14.9	16.8	17.8	28.8	18.6	18.2	20.9	25.7	16.3	26.9	28.4	41.1	28.5	24.0	27.0

利益状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

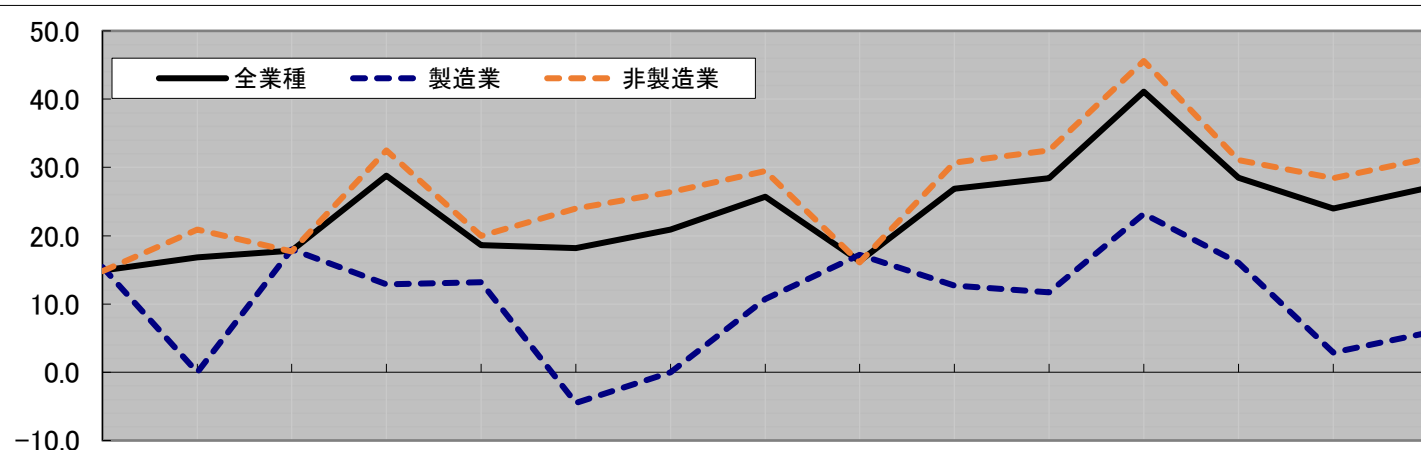
	2023				2024				2025				2026		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒 字	46.2	31.5	45.8	41.9	42.6	30.3	34.8	33.4	46.9	41.4	40.3	43.9	46.4	27.5	30.4
収 支 ト ン ト ン	23.1	37.0	26.4	29.0	28.0	34.9	30.4	43.9	23.4	29.9	31.1	35.4	23.2	47.9	45.0
償 却 後 赤 字	30.8	31.5	27.8	29.0	29.4	34.8	34.8	22.7	29.7	28.7	28.6	20.7	30.4	24.6	24.6
D . I .	15.4	0.0	18.0	12.9	13.2	-4.5	0.0	10.7	17.2	12.7	11.7	23.2	16.0	2.9	5.8

利益状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2023				2024				2025				2026		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒 字	38.5	42.1	37.3	48.9	41.2	42.6	44.9	48.1	40.2	47.3	48.5	56.2	46.9	40.6	40.9
収 支 ト ン ト ン	37.7	36.7	43.2	34.7	37.6	38.8	36.6	33.3	35.7	36.1	35.5	33.2	37.3	47.2	49.5
償 却 後 赤 字	23.7	21.2	19.6	16.4	21.2	18.6	18.5	18.6	24.1	16.6	16.0	10.6	15.8	12.2	9.6
D . I .	14.8	20.9	17.7	32.5	20.0	24.0	26.4	29.5	16.1	30.7	32.5	45.6	31.1	28.4	31.3



全産業の利益状況D.I.はプラス28.5と前回比12.6ポイント悪化しました。

製造業はプラス16.0と前回比7.2ポイント悪化しました。2026年4月以降も悪化傾向ではあるものの、プラス圏内で推移する予想です。

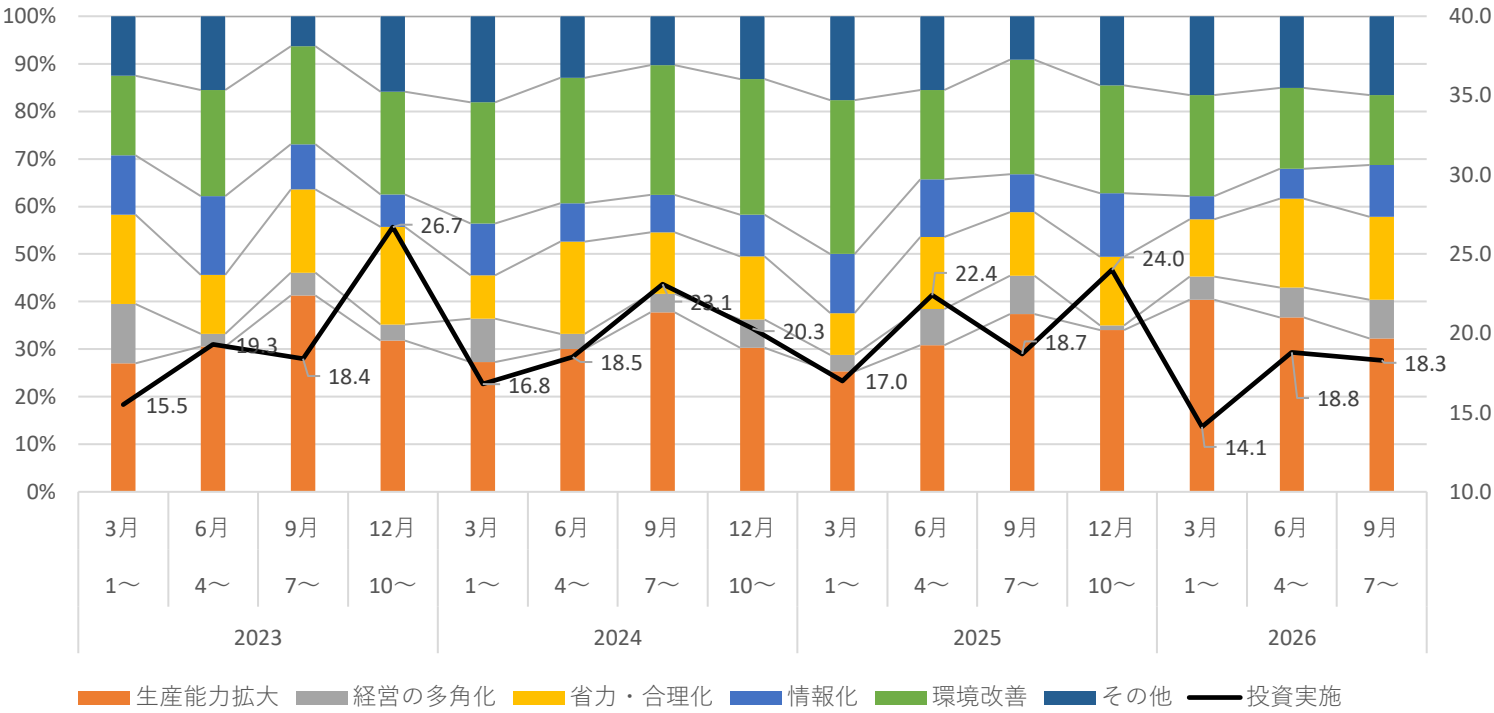
非製造業はプラス31.1と前回比14.5ポイント悪化しました。2026年4月以降もプラス圏内で推移する予想です。

VI. 設備投資動向

(小数点第2位を四捨五入)

設備投資の有無													(%)			見込	予測
	2023				2024				2025				2026				
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月		
投 資 実 施	15.5	19.3	18.4	26.7	16.8	18.5	23.1	20.3	17.0	22.4	18.7	24.0	14.1	18.8	18.3		
投 資 せ ず	84.5	80.7	81.6	73.3	83.2	81.5	76.9	79.7	83.0	77.6	81.3	76.0	85.9	81.2	81.7		

設備投資の目的（実施先について）													見込		予測	
	2023				2024				2025				2026			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
生産能力拡大	27.0	30.6	41.3	31.8	27.3	30.0	37.7	30.3	25.3	30.8	37.4	34.0	40.4	36.7	32.2	
経営の多角化	12.5	2.6	4.8	3.4	9.1	3.2	3.9	5.9	3.5	7.6	8.0	1.0	4.9	6.3	8.2	
省力・合理化	18.8	12.4	17.5	20.5	9.1	19.4	13.0	13.3	8.8	15.2	13.4	14.4	12.0	18.6	17.4	
情報化	12.5	16.6	9.5	6.8	10.9	8.1	7.8	8.8	12.4	12.1	8.0	13.4	4.9	6.3	10.9	
環境改善	16.7	22.3	20.6	21.6	25.5	26.4	27.3	28.5	32.4	18.8	24.1	22.7	21.2	17.0	14.7	
その他	12.5	15.5	6.3	15.9	18.1	12.9	10.3	13.2	17.6	15.5	9.1	14.5	16.6	15.1	16.6	



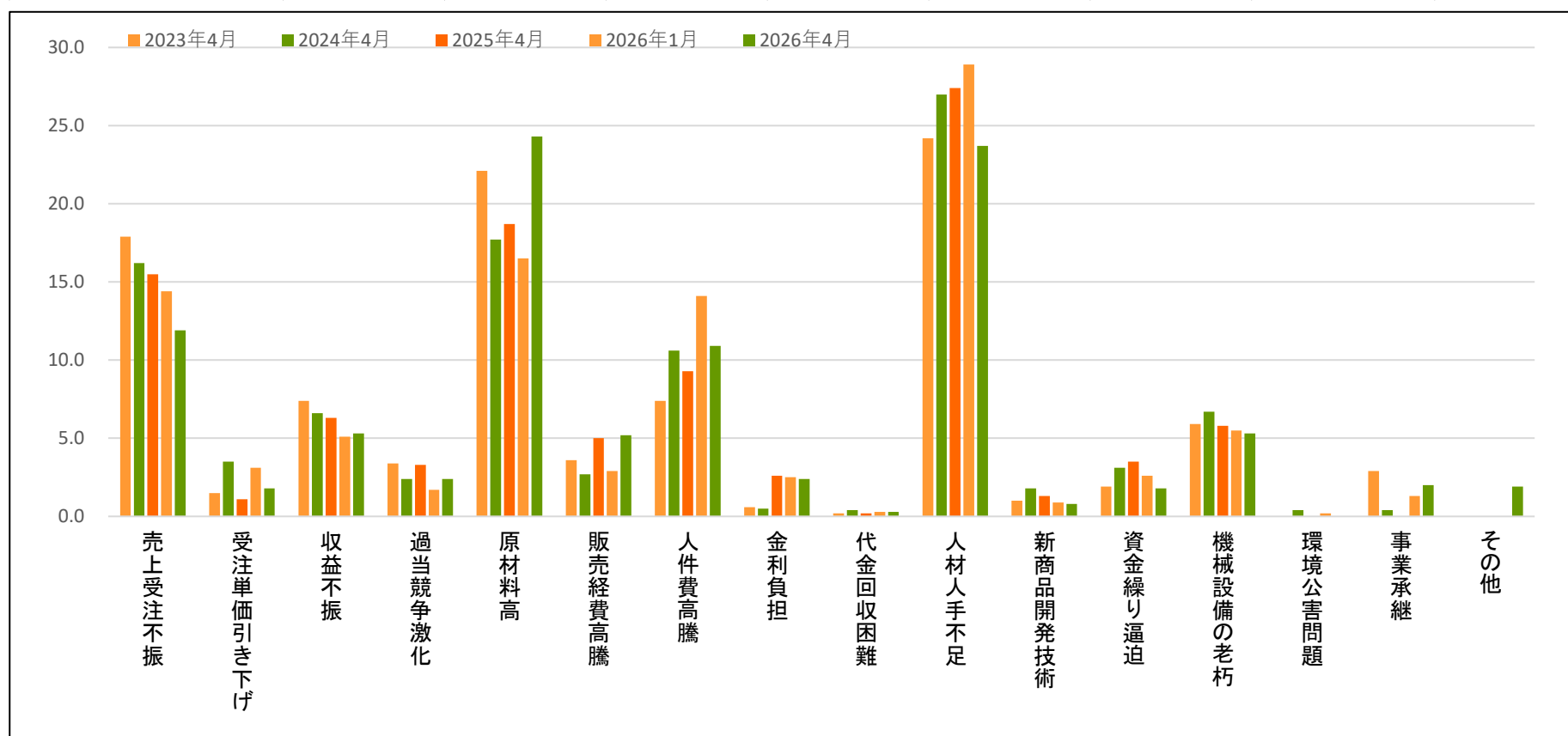
設備投資を実施した企業は14.1%となり、前回比9.9ポイント下降しました。2026年4月以降の設備投資意欲は若干の上昇傾向で推移していくものと予想しています。

設備投資を実施した目的について、「生産能力拡大」は40.4%と前回比6.4ポイント上昇しました。「環境改善」は21.2%と前回比1.5ポイント下降しました。「省力・合理化」は12.0%と前回比2.4ポイント下降しました。「情報化」は4.9%と前回比8.5ポイント下降しました。「経営の多角化」は4.9%と前回比3.9ポイント上昇しました。引き続き、「生産能力拡大」を目的とした設備投資動向が続くと推察されます。

VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり) (小数点第2位を四捨五入)

	2023年4月 (3年前同月)	2024年4月 (2年前同月)	2025年4月 (前年同月)	2026年1月 (前回)	2026年4月 (今回)			前回比増減
						(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	17.9	16.2	15.5	14.4	11.9	15.0	11.2	▲ 2.5
受注単価引き下げ	1.5	3.5	1.1	3.1	1.8	1.7	1.9	▲ 1.3
収益不振	7.4	6.6	6.3	5.1	5.3	6.7	5.0	0.2
過当競争激化	3.4	2.4	3.3	1.7	2.4	1.7	2.6	0.7
原材料高	22.1	17.7	18.7	16.5	24.3	29.2	23.2	7.8
販売経費高騰	3.6	2.7	5.0	2.9	5.2	5.8	5.0	2.3
人件費高騰	7.4	10.6	9.3	14.1	10.9	9.2	11.3	▲ 3.2
金利負担	0.6	0.5	2.6	2.5	2.4	3.3	2.2	▲ 0.1
代金回収困難	0.2	0.4	0.2	0.3	0.3	0.0	0.4	0.0
人材人手不足	24.2	27.0	27.4	28.9	23.7	14.2	25.8	▲ 5.2
新商品開発技術	1.0	1.8	1.3	0.9	0.8	1.7	0.6	▲ 0.1
資金繰り逼迫	1.9	3.1	3.5	2.6	1.8	1.7	1.9	▲ 0.8
機械設備の老朽	5.9	6.7	5.8	5.5	5.3	8.3	4.6	▲ 0.2
環境公害問題	0.0	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	▲ 0.2
事業承継	2.9	0.4	0.0	1.3	2.0	0.8	2.2	0.7
その他	-	-	-	-	1.9	0.7	2.1	1.9



当面の経営上の問題点として「原材料高」が最も多く24.3%となります。次いで高い項目は「人材人手不足」の23.7%、3番目に高い項目は「売上受注不振」の11.9%、4番目に高い項目は「人件費高騰」の10.9%となっています。経営上の問題点のトレンドは、前回と異なり、中東情勢による影響が大きく反映された結果と想定されます。一方で、引き続き人材に関する課題は継続すると推察されます。

また、前回比増減が大きい項目として、「原材料高」が24.3%と前回比プラス7.8ポイント、「人材人手不足」が23.7%と前回比マイナス5.2ポイントとなっています。

中東情勢の影響について

回答企業数	404社（うち、製造業69社、非製造業335社）
調査企業数	637社
調査時期	2026年4月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施 （中小企業動向調査と同時に実施）

中東情勢の緊迫化に関するアンケートでは、「既に悪影響が出ている」、「現時点で影響は出ていないが、今後悪影響が出る可能性がある」と回答した企業が大半を占める結果となりました。

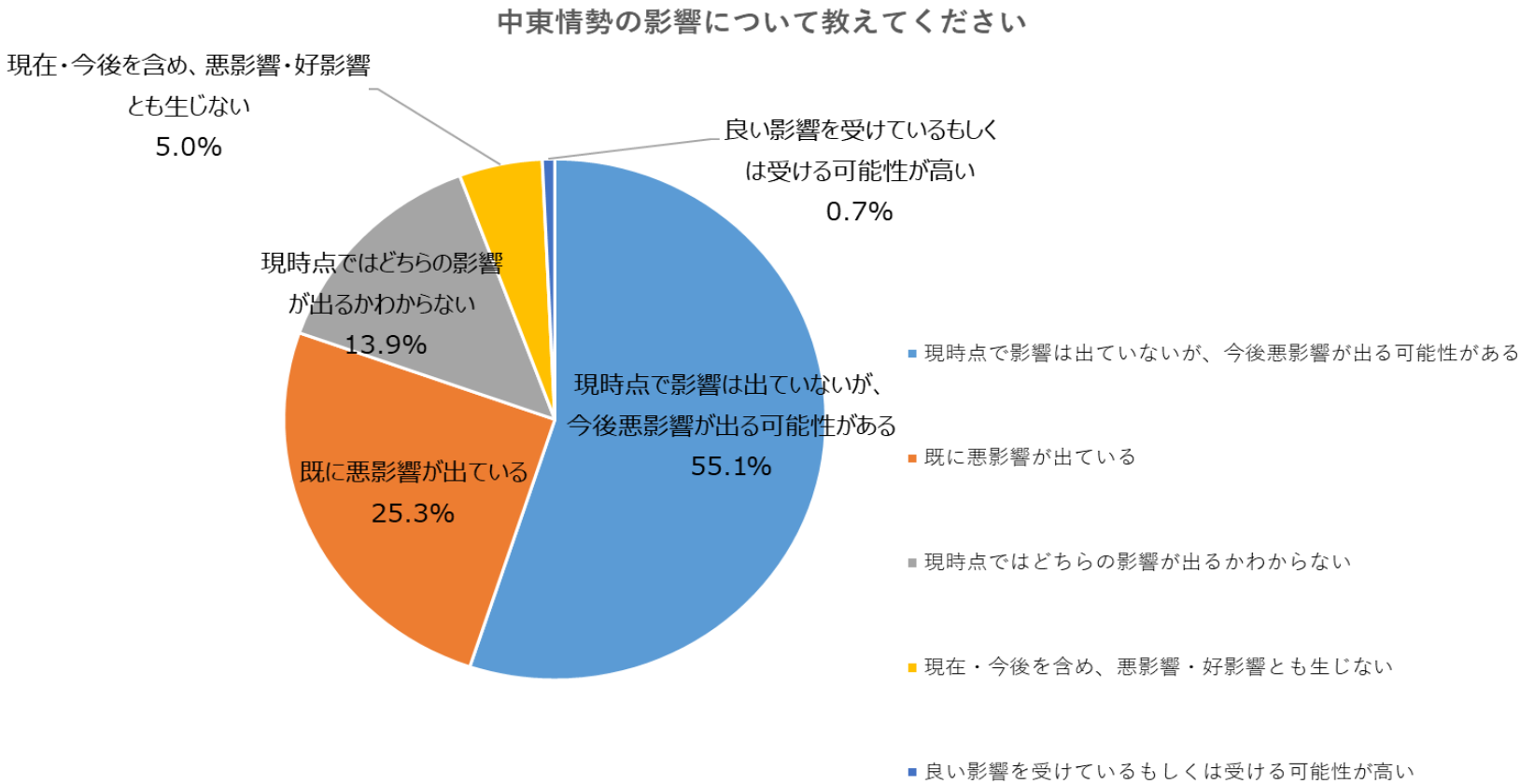
具体的な影響の内容は「燃料高騰による製造・サービス・輸送コストの増加」、「石油化学原料・製品の高騰による製造・サービスコストの増加」、「石油化学原料・製品の供給ストップによる生産調整」等、中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰や供給不足が経営に重大な悪影響を及ぼしています。

中東情勢の更なる悪化に備える対応策として、「価格への転嫁を交渉する」、「経費の削減」、「新たな仕入先・代替品の開拓」、「新たな販路の開拓」、「製造工程・サービス内容の見直し」、「戦略的提携・M&Aの加速」等、複数の手段を織り交ぜた対応が窺えます。

また、紛争が長期化するとサプライチェーンの混乱および原料・原油価格の高騰が長引くだけに、事業計画の見直し及びビジネスモデルの再構築を迫られる企業の増加が想定されます。

中東情勢の影響について

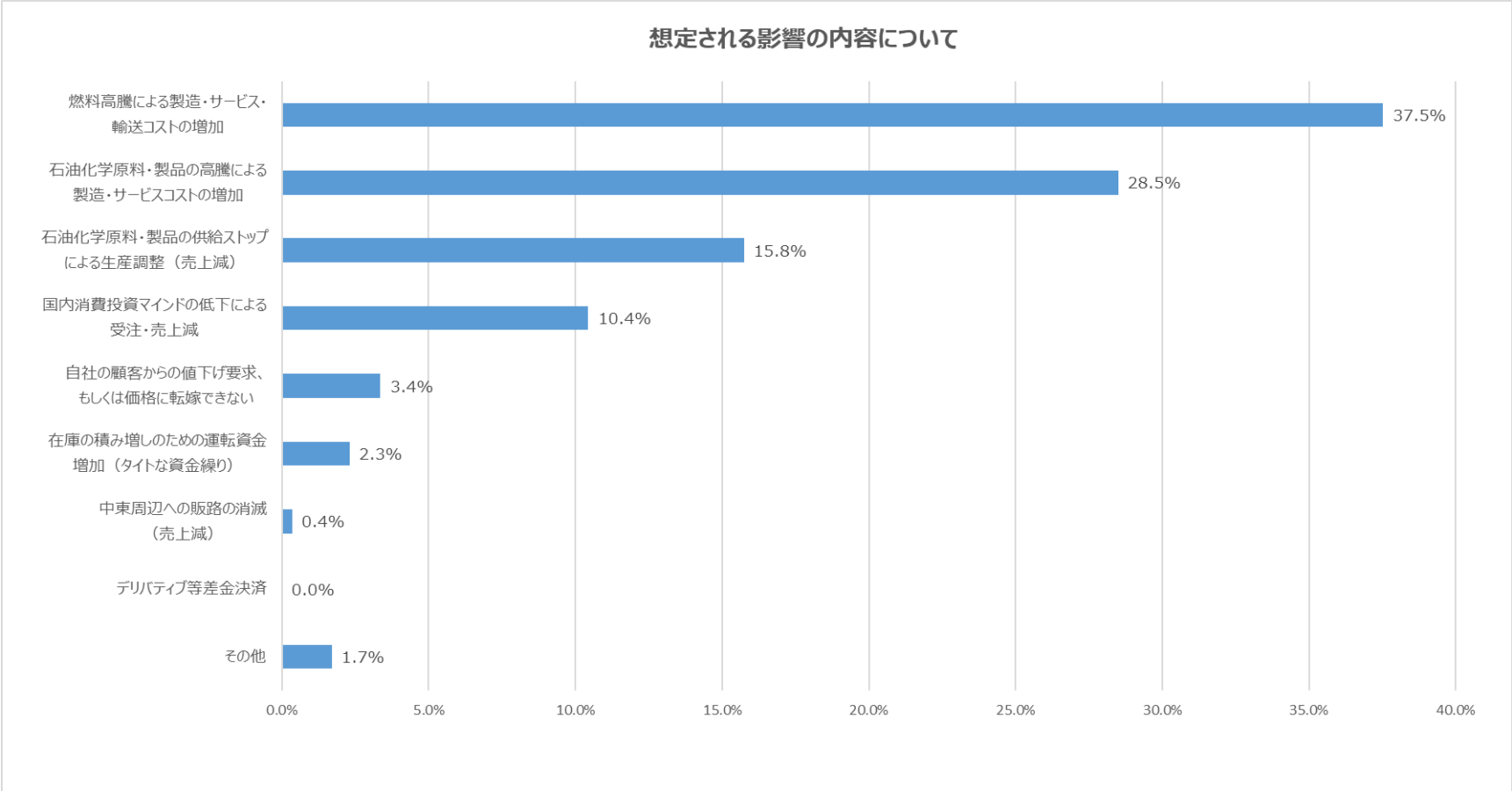
設問1：中東情勢の緊迫化に伴い事業への影響について教えてください。



「現時点で影響は出ていないが、今後悪影響が出る可能性がある」と回答した企業が55.1%と最も多く、次いで「既に悪影響が出ている」が25.3%、「現時点ではどちらの影響が出るかわからない」が13.9%、「現在・今後を含め、悪影響・好影響とも生じない」が5.0%、「良い影響を受けているもしくは受ける可能性が高い」が0.7%となっています。

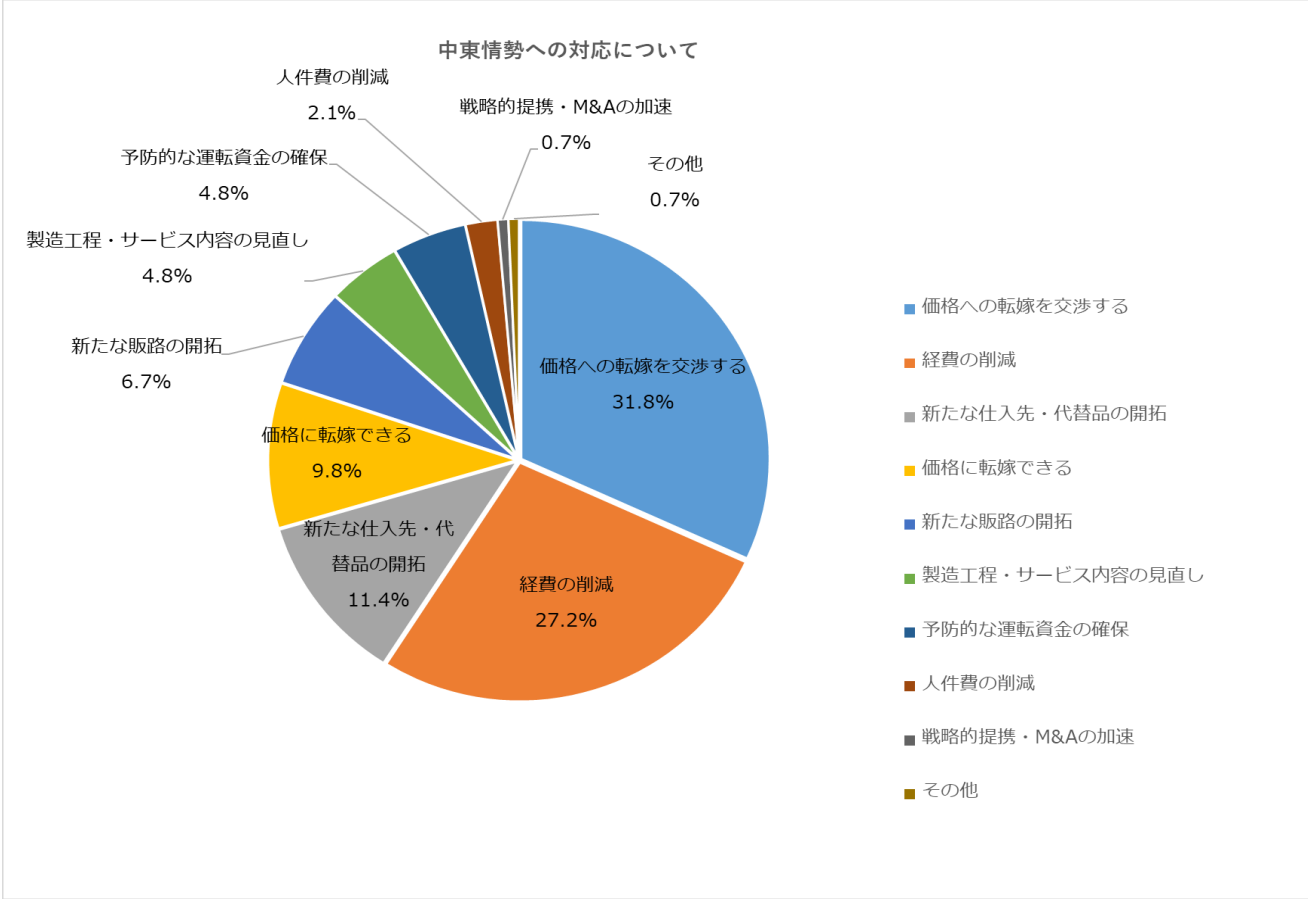
設問2： 想定される影響の内容について教えてください。

※設問1で「既に悪影響が出ている」「現時点で影響は出ていないが、今後悪影響が出る可能性がある」と回答された方のみ回答（複数回答可）



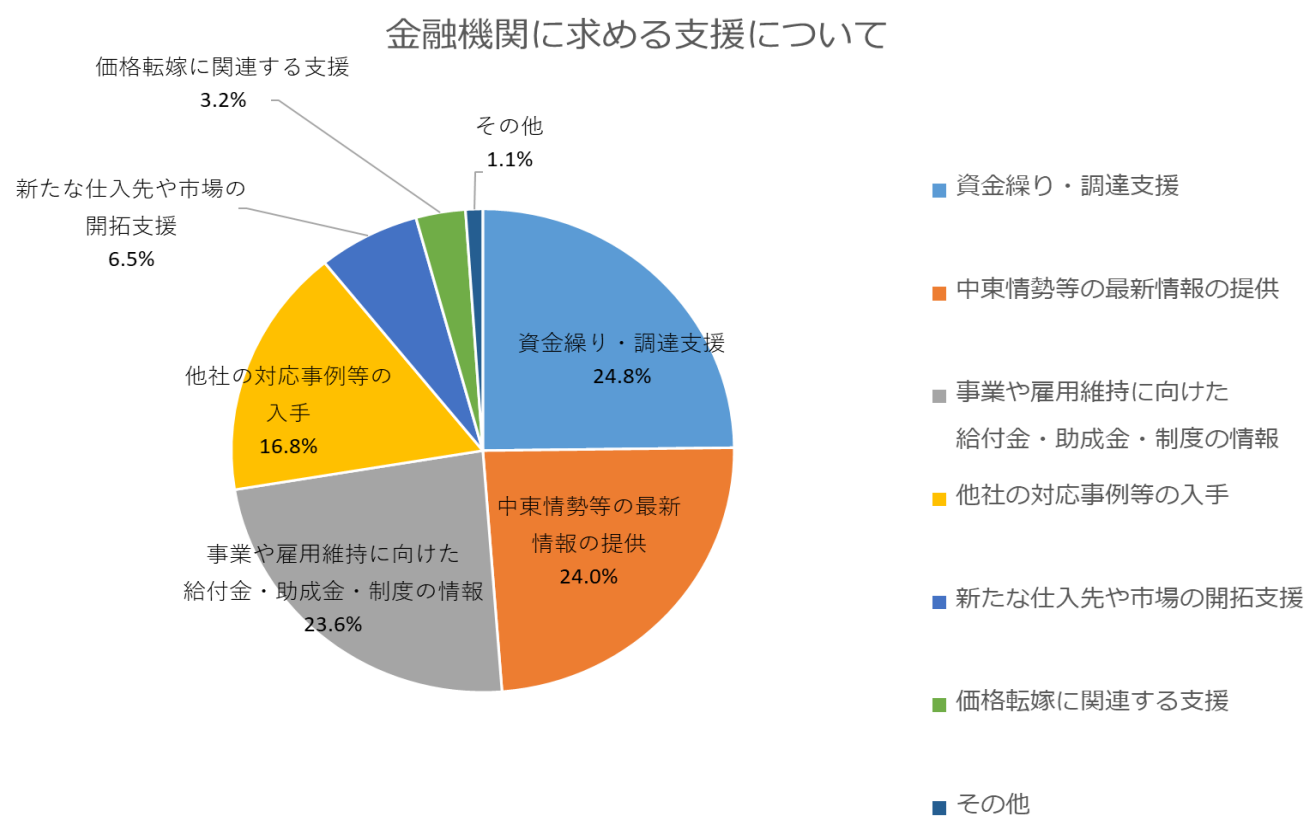
「燃料高騰による製造・サービス・輸送コストの増加」と回答した企業が37.5%と最も多く、次いで「石油化学原料・製品の高騰による製造・サービスコストの増加」が28.5%、「石油化学原料・製品の供給ストップによる生産調整（売上減）」が15.8%、「国内消費投資マインドの低下による受注・売上減」が10.4%、「自社の顧客からの値下げ要求、もしくは価格に転嫁できない」が3.4%、「在庫の積み増しのための運転資金増加（タイトな資金繰り）」が2.3%、「中東周辺への販路の消滅（売上減）」が0.4%となっています。

設問3： 中東情勢の更なる悪化に備え、実施、あるいは今後行う予定の対応について教えてください。



「価格への転嫁を交渉する」と回答した企業が31.8%と最も多く、次いで「経費の削減」が27.2%、「新たな仕入先・代替品の開拓」が11.4%、「価格に転嫁できる」が9.8%、「新たな販路の開拓」が6.7%、「製造工程・サービス内容の見直し」が4.8%、「予防的な運転資金の確保」が4.8%、「人件費の削減」が2.1%、「戦略的提携・M&Aの加速」が0.7%となっています。

設問4：金融機関に求める支援について教えてください。



「資金繰り・調達支援」と回答した企業が24.8%と最も多く、次いで「中東情勢等の最新情報の提供」が24.0%、「事業や雇用維持に向けた給付金・助成金・制度の情報」が23.6%、「他社の対応事例等の入手」が16.8%、「新たな仕入先や市場の開拓支援」が6.5%、「価格転嫁に関連する支援」が3.2%となっています。

コンサルティングサービス

富山第一銀行コンサルティングの特徴

100社以上のコンサルティング支援実績

オーダーメイド型の
伴走支援

地域やお取引先との
幅広いネットワーク

成長戦略策定支援サービス

- 中期経営計画・経営戦略策定
- 新事業展開・事業再構築戦略策定
- 経営理念・経営ビジョン策定
- 企業のあるべき姿・全社戦略・事業戦略策定
- マーケティング・ブランド戦略策定

経営改善支援サービス

- 売上拡大に向けた課題整理と改善策の策定
- 原価管理体制の構築、業務効率化支援
- 部門別・販売先別などの収益管理の見える化
- 工程別の課題抽出と生産管理体制の構築
- ミス・ロス低減に向けた改善策の検討

各種補助金申請の ご支援

- 事業再構築補助金、
ものづくり補助金など
各種補助金の申請支援

コンサルティング サービス (伴走支援)

BCP計画策定 サポートのご支援

- 自然災害などの緊急
事態に備えた事業継続
計画の策定支援

DXコンサルティングのご支援

- 業務棚卸、フローの見える化による課題抽出と
解決策の検討
- 勤怠管理、労務管理、在庫管理、販売管理、
収益管理、営業管理などのDX化支援
- 入出金業務、給与計算、経費精算などの業務
効率化サポート

人事評価制度・組織体制の強化 ・人材育成のご支援

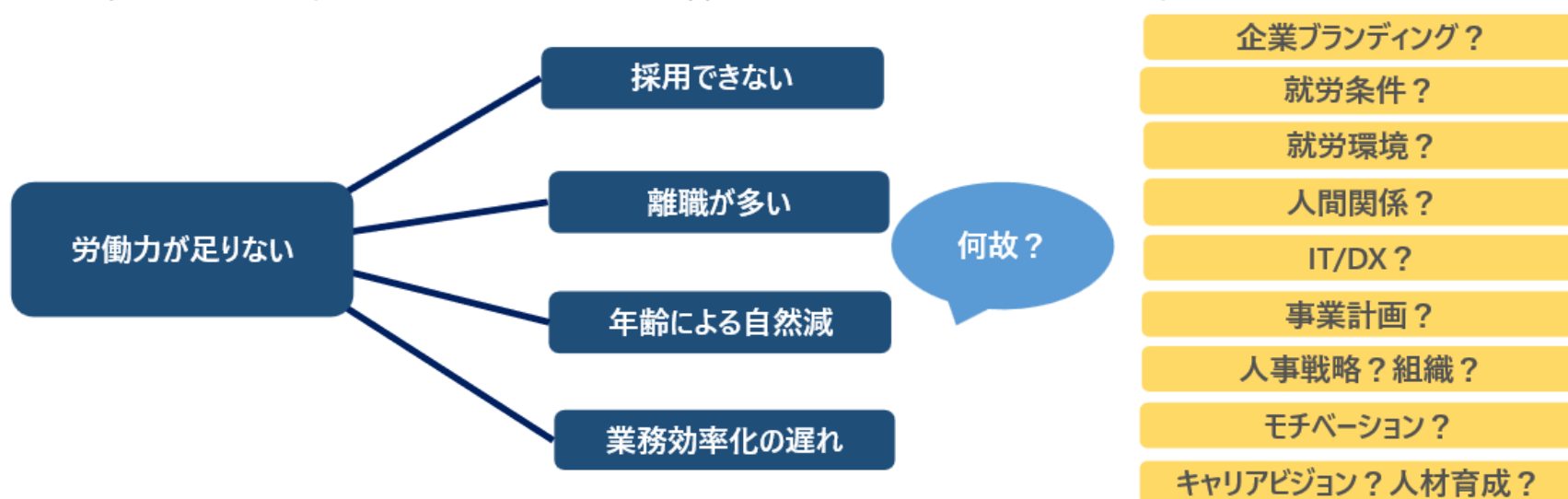
- 人事評価制度の導入・改定
- 賃金体系の策定
- 従業員満足度（ES）向上策の策定
- 従業員向けアンケート調査・個別面談の実施
- 社員向け経営計画発表会の開催
- プロジェクトチーム（PT）の運営サポート

このようなお困りごとございませんか

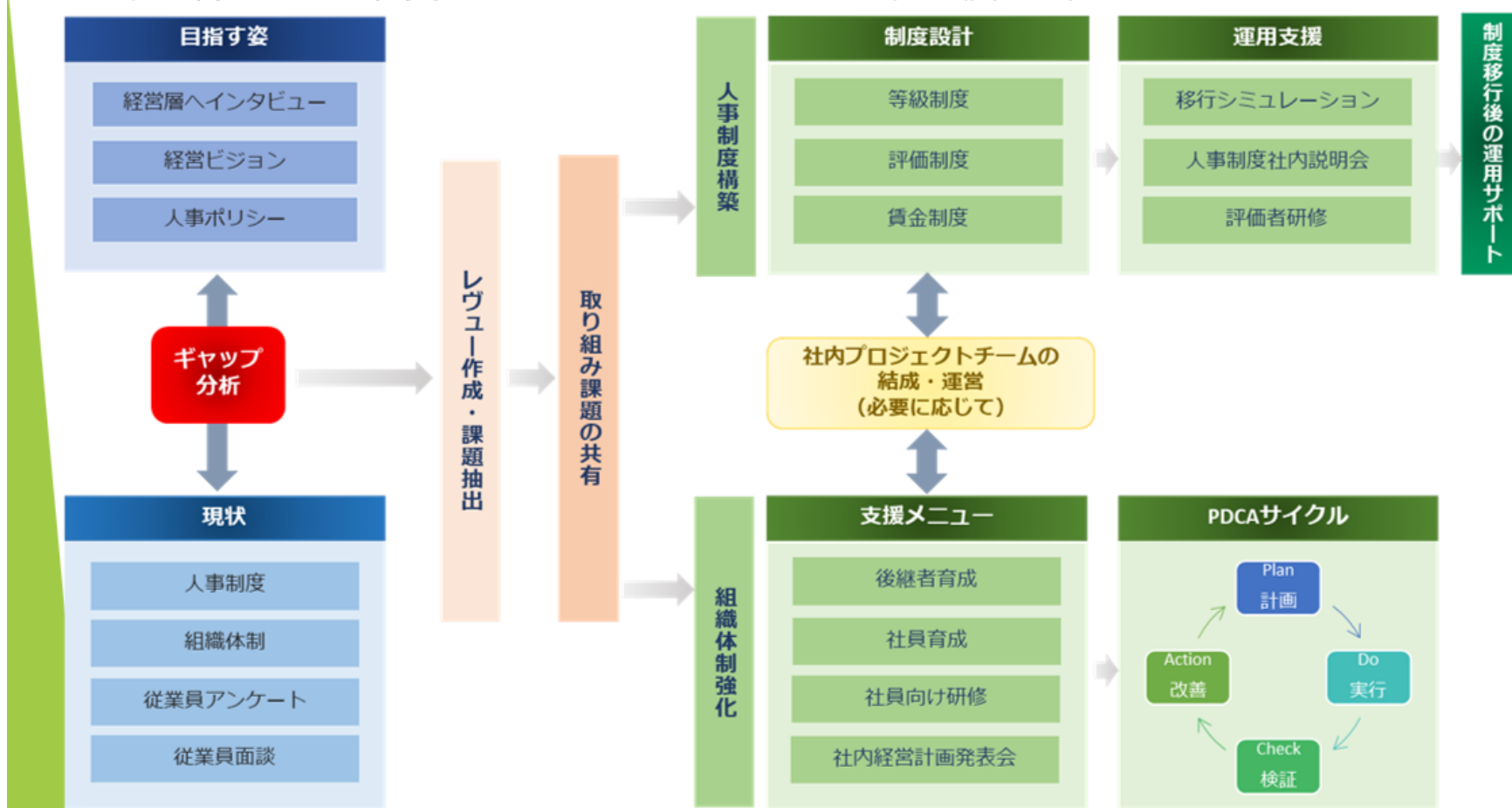
- ◆ 社員の採用ができない、採用した社員が定着しない
- ◆ 賃金テーブル、評価する基準がなく、社長の裁量で昇給をしている
- ◆ 人事制度はあるが、永年見直しをせずに運用を続けている
- ◆ 会社の求める人材、役割、スキルを明確にしたい
- ◆ 社員の働くモチベーションを高めたい
- ◆ 会社の経営方針を社員と共有出来ていない
- ◆ 後継者、幹部社員候補の育成が進んでいない

貴社の人事・組織に関するお困りごとの整理、解決に向けた支援に取り組みます

- ▶ 単に人材の課題においてもなぜ？を繰り返すことで出てくる課題は様々です。



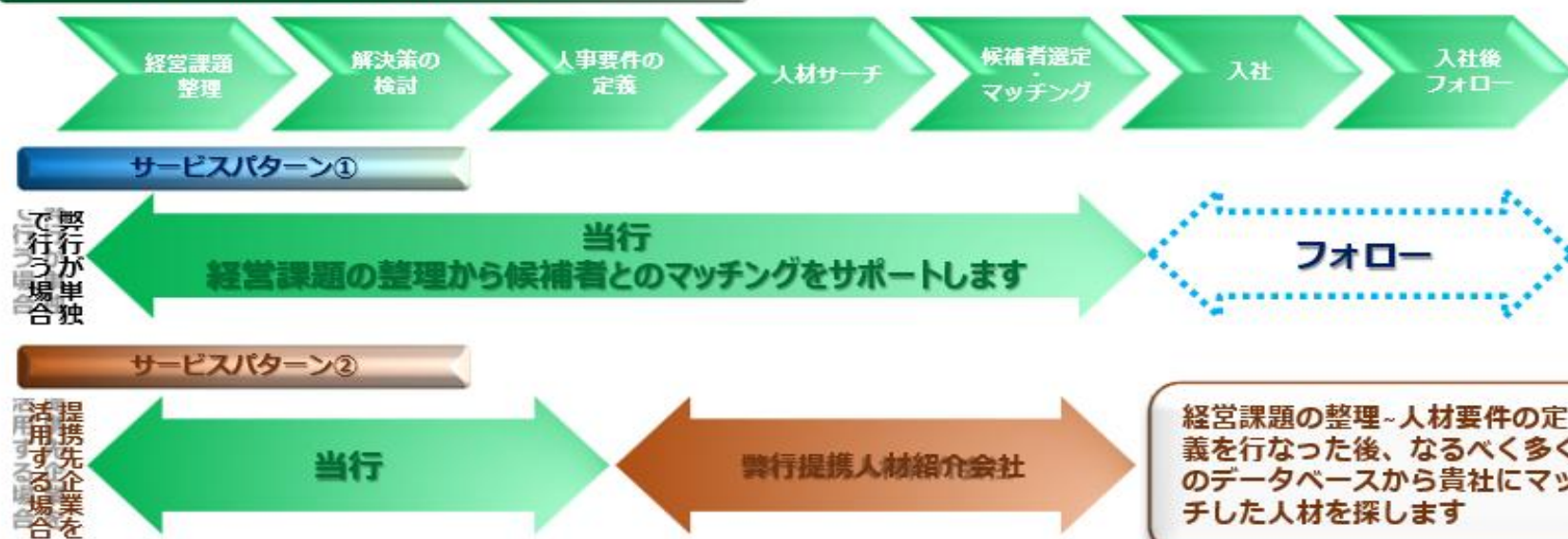
- ▶ 経営陣の皆様・社員の皆様との対話を大切に、課題解決に伴走いたします。



人材紹介

お客さまの経営課題を深く理解し、その解決のために必要な人材募集のお手伝いをさせていただきます。弊行並びに人材紹介を行なう弊行提携先企業の幅広いデータベースの中から最適な人材をご紹介します、貴社の事業拡大・課題解決等をサポートいたします。

人材採用の主な流れと弊行のサービス



人材紹介事例

- ・ 社内のIT化を進めたいが、社内を取り仕切れる人材が欲しい。
- ・ 社内研修・社員育成プログラムを立ち上げたい。
- ・ 将来の役員を担う人材を探している。 など

デジタル人材

財務・経理・総務

後継者

マーケティング・戦略

ブランディング

労働力確保・・・

事業承継、M&A

事業承継に悩む経営者様に寄り添い、承継に向けた課題抽出から課題解決、承継完了まで全面的にご支援させていただきます。数多くの取組実績を基にした実例から、各経営者様にとって最適な承継支援を実現いたします。

現状分析

- ・ 株式の評価額と所有者ごとの持株数の確認
- ・ 事業用資産の把握（所有名義の確認等）
- ・ 後継者の了解は取れているか など

問題点の洗い出し

- ・ 株式の移行に伴う弊害、税金の負担
- ・ 後継者の教育期間やサポート体制
- ・ 会社の業績の増減によるタイミング など

各種対策の検討

- ・ 分散株式の集約化
- ・ 非上場株式に係る相続税・贈与税の納税猶予の活用
- ・ 相続時清算課税制度の利用
- ・ 種類株式や持株会、信託などの活用
- ・ 社内の組織再編、役職の見直し など

対策の実行

- ・ 顧問税理士、弊行提携専門家と連携
- ・ 自社株式の評価対策 など

代表権や株式の移行

- ・ 親族内承継、従業員承継、M&A など

社長の引退

- ・ 引退後の資産運用、円滑な相続を見据えたご支援

入り口から出口
 までのご支援を
 いたします

中小企業のお悩みに効く！

 富山第一銀行

売上UP

どうすれば…

販路拡大

方法は…

後継者

決められない…

人材育成

進まない…

企業の常備薬として

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>